

このコーナーは、市内の話題・活動などを紹介します。



# むらかみの話題

## かかしに豊作の願いを込めて

8月2日(日) 中新保集落



昨年から、農作物の豊作を願って8月～10月の間道路沿いに展示している集落自作のかかし。

今年も7月から準備を始め、約1か月の製作期間を経て、タレントやアニメキャラクターなどユニークなかかし5体を展示しました。10月の収穫祭では、かかしを公民館に飾って、子どもから大人まで多くの参加者が世代間交流をしながら実りの秋に感謝します。

## 伝統農法を学んで17年

8月8日(土) 山北地区



山北地区では特産品の「赤カブ」を伝統農法の「焼畑」で栽培します。

この日も「焼畑フェスタ」が開催され、17年間毎年訪れている「日本大学生物資源学部」の学生も参加して、地域の皆さんに教わりながら焼畑を体験しました。

10月には山北地区内で真っ赤で歯ごたえの良い赤カブの収穫時期を迎えます。

## 水質浄化のためにEM活性液を投入

7月21日(火) お幕場・大池公園



冬になると白鳥が飛来し、観光地として大勢の人が訪れる大池公園。その大池の水質浄化のため、NPO法人いわふね地域エコセンターが5トンのEM活性液を投入しました。代表の加藤治郎さんは、「悪臭の防止や生態系を回復させることで、さらなる観光地としての魅力を高められれば」と話していました。

## 子どもたちが映画で伝えたい地域の宝

8月1日(土) さんぼく南小学校



さんぼく南小学校の5年生が総合学習の一環として、地域の魅力を再発見しようと企画・脚本・撮影を児童が分担しての映画づくりに取り組みました。この日は地元を舞台に、新潟市民団体にいがた映画塾や地元の皆さんに協力をいただき、ロケーション撮影が行われました。

映画は、11月8日の「さんぼく祭」や地域内のイベント、新潟市内で上映される予定です。

## 熱気に包まれた2日間！「あらかわ大祭」開催

8月7日(金)・8日(土) 荒川地区



村上高校ダンス部の軽快な演技で幕開けした今年のあらかわ大祭。坂町駅前通りを舞台に約800人の踊り子による民謡流しが行われました。この日は、みこしのねり歩きや保内小学校「メロデイズ」の演奏などのほか、あらかわスイーツプロジェクトチームによる「夢のあらかわ氷」も販売され、会場は大勢の観客で賑わい、熱気に包まれました。

2日目は荒川河川敷に会場を移し、花火大会が行われました。この日オープニングを飾ったのは山北地区の日本国太鼓。威勢の良い演奏で祭りムードは一気に最高潮に達すると、いよいよ打ち上げがスタート。平和への願いを込めた「白菊」を皮切りに、約350発の花火が次々と打ち上げられました。大祭のフィナーレを飾ったのは、恒例となった名物「尺玉100連発」。真夏の夜空に爆音を轟かせながら咲き乱れる尺玉の迫力に、会場からは大きな歓声と拍手が送られました。

ウェブで検索してみても紹介している以外の記事も載っています。



## 巨大クレーンを操作したよ

8月9日(日) エコパークむらかみ(ごみ処理場)



親子を対象にした環境学習教室が開催されました。施設見学のほか、普段は入ることができない中央制御室で、実際にごみクレーンを操作して大量のごみをつかむ貴重な体験をした参加者たち。坂町から参加した小学4年生の福井稟人りんとくんは「ごみクレーンの操作は難しかったけど楽しかったです」と笑顔で話してくれました。

## 先祖に思いを巡らせて

8月15日(土) 殿岡集落



まちづくり事業の一環として3年前から始まった殿岡集落の灯籠流し。各家庭でそれぞれの思いを書き込んだ灯籠を、夕方から集まった約100人が集落内の石川に流し入れました。その幻想的な情景に酔いしれながら先祖への思いを巡らせました。